

# Multi LABELIST V6 シリーズ Ver.6.0.3.0

# トピックス

No.	内容	
1	機能追加	Excelファイルの取込機能を追加しました。
2	機能追加	データ取込時に入力チェックとソートが可能になりました。
3	機能追加	MLウォッチでカラープリンタ使用時に印刷ジョブを任意の形式で分割する機能を追加しました。
4	機能改善	RFID作成機能を強化しました。
5	機能追加	WebEngineCSで直接制御(LAN, USB, Bluetooth, RS-232C)に対応しました。

# 1-1. Excelファイルの参照に対応

対象

MLV6  
Standard

MLV6  
Lite

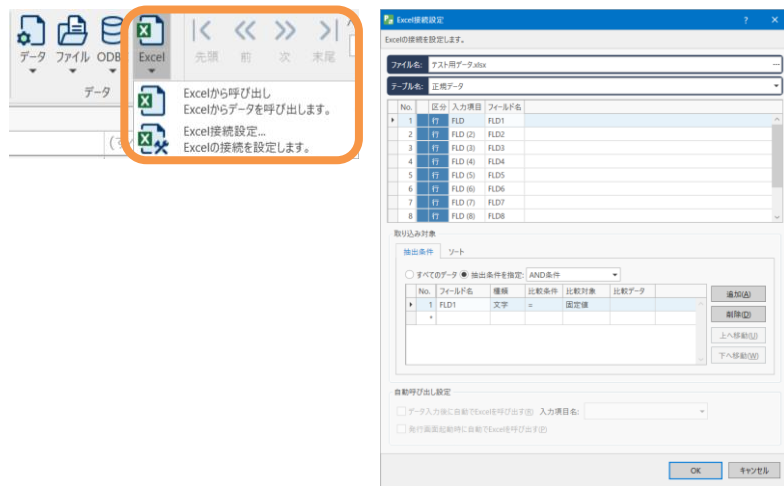
MLV6  
Plus

MLV6  
Enterprise

## ■機能紹介

MLプリントで取り込み可能なファイル形式として“.xlsx”が指定可能になりました。

データ選択時にシートと項目名を紐づけて取り込みます。



## ■用途

- ・取り込みデータのメンテナンスを使い慣れたExcelで行えます。
- ・ODBC接続設定を使用せずにExcelファイルのデータを取込できます。
- ・CSVをExcelに取り込んでデータ編集した際に発生していた指数書式への変換などのデータ崩れリスクが減らせます。

## (用途例)

- ・人の手で編集しているマスタをCSV変換無しで取り込めるようにしたい。
- ・取り込みデータを基幹システムからExcel出力して配置したい。

## 【制限事項】

“Confidential”など暗号化処理されたファイルは使用できません。

# 1-2. Excelファイルの参照に対応

対象

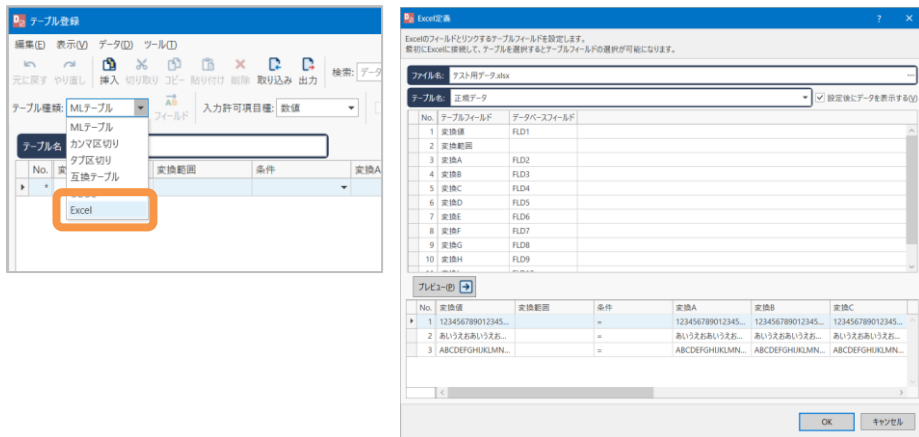
MLV6  
Standard

MLV6  
Plus

MLV6  
Enterprise

## ■機能紹介

MLデザインでのテーブル種類で“Excel”が設定可能になりました。  
シートと項目名を選択して紐付けて取り込みます。



## ■用途

- ・テーブルのメンテナンスを使い慣れたExcelで行えます。
- ・Excelファイルをテーブルとして使用できるので、MLデザインでの編集なしでデータが追加できます。

## (用途例)

- ・値札タグ発行でのカラーやサイズの追加をExcelで行いたい。
- ・品番に対する品名等の情報を基幹システムからExcel出力してダウンロードして配置したい。

## 【制限事項】

“Confidential”など暗号化処理されたファイルは使用できません。

## 2-1. 発行時の入力エラー表示を強化

対象

MLV6  
Standard

MLV6  
Lite

MLV6  
Plus

MLV6  
Enterprise

### ■機能紹介

発行時の入力チェック機能を強化し、エラー箇所がわかりやすくなりました。

### ■Before

発行ボタン押下時にチェックされるが、どこが間違えているのか分かりにくい。

No.	センターコード	センター名	店舗コード	店舗名	カテゴリコード	カテゴリ名
1	100	首都圏	101	田町	201	衣料品
2	101	埼玉	201	大宮	202	靴
3	201	関西XD	308	大阪	301	靴
4	303	福岡	401	博多	301	衣料品

### ■After

入力・取込時にエラーチェックされ、エラー箇所もわかりやすくなりました。  
エラー箇所にカーソルが移動し、修正もしやすくなりました。

No.	センターコード	センター名	店舗コード	店舗名	カテゴリコード	発注区分	納品日	Code39	Code128	発行枚数
1	100	首都圏	101	田町	201	衣料品	10/06	1234567890	99999999999999	5
2	101	埼玉	201	大宮	202	靴	10/06	1234567890	99999999999999	10
3	201	関西XD	308	大阪	301	靴	10/06	a123456789	99999999999999	3
4	303	福岡	401	博多	301	衣料品	10/06	9876543210	99999999999999	

① 入力に誤りがある項目が文字色と背景色で強調表示されます。

② エラーメッセージに行数と列数、詳細内容が表示されます。

③ データ入力時・取込時に自動でチェック出来ます。

## 2-2. 発行時のデータの並び替えに対応

対象

MLV6  
Standard

MLV6  
Lite

MLV6  
Plus

MLV6  
Enterprise

### ■機能紹介

発行画面でタイトル行をクリックすると、クリックした列の入力項目を文字/数値形式でソートできるようになりました。

発行		データ			
No.	センターコード	センター名	店舗コード	店舗名	カテゴリ
1	100	首都圏	202	大宮SP	301
2	100	首都圏	306	21世紀が丘	301
3	100	首都圏	503	1010Senju	200
4	100	首都圏	101	M田町	100
5	100	首都圏	112	106渋谷	100
6	100	首都圏	201	Aさいたま	201

発行		データ			
No.	センターコード	センター名	店舗コード	店舗名	▲ カテゴリ
1	100	首都圏	503	1010Senju	200
2	100	首都圏	112	106渋谷	100
3	100	首都圏	306	21世紀が丘	301
4	100	首都圏	201	Aさいたま	201
5	100	首都圏	101	M田町	100
6	100	首都圏	202	大宮SP	301

### ■用途

- ・受注入力された順に作成される発注データを、発行する時に店舗名順に並べ替えたい。
- ・CSVで取り込んだ商品マスタを商品コード順に並べ替えたい。

ソート時のデータ種類はオプションで変更可能です。

MLプリント>ファイル>オプション>入力設定

オプション

入力設定を設定します。

入力設定  
フィルタ: AND条件

ソート時のデータ種類: 数値

テンキー入力設定: 文字

番号配列:  ボタン1  ボタン2

1	2	3
4	5	6
7	8	9

7	8	9
4	5	6
1	2	3

動作ボタン: Enterキー

OK キャンセル

## 2-3. 発行時のデータの並び替えに対応

対象

MLV6 Standard	MLV6 Lite	MLV6 Plus	MLV6 Enterprise				
---------------	-----------	-----------	-----------------	--	--	--	--

### ■機能紹介

ファイル/ODBC/Excelでデータの取込時に指定した入力項目でソートできるようになりました。

Excel接続設定

Excelの接続を設定します。

ファイル名: テスト用データ.xlsx

テーブル名: 表示形式

No.	区分	入力項目	フィールド名
1	行	FLD	数値
2	行	FLD (2)	通貨
3	行	FLD (3)	会計
4	行	FLD (4)	曜日付
5	行	FLD (5)	異日付
6	行	FLD (6)	時刻
7	行	FLD (7)	パーセン
8	行	FLD (8)	分数

取り込み対象

抽出条件 ソート

No.	フィールド名	種類
1	数値	昇順
		数値
		文字

・フィールド名  
・昇順/降順  
・文字/数値  
の3要素で並び替えが可能です。

自動呼び出し設定

データ入力後に自動でExcel呼び出す(※) 入力項目名: \_\_\_\_\_

発行画面起動時に自動でExcel呼び出す(※)

OK キャンセル

### ■用途

・基幹システムからセットされるデータをMLプリントで取り込む際、元データの並びが不規則な場合などに並び替えた状態で取り込めます。

(用途例)

「店舗コード/昇順/数字」を基準に並び替えた状態で取り込みたい。

店舗コード	店名	発行枚数
003	恵比寿店	10
001	目黒店	5
002	田町店	8



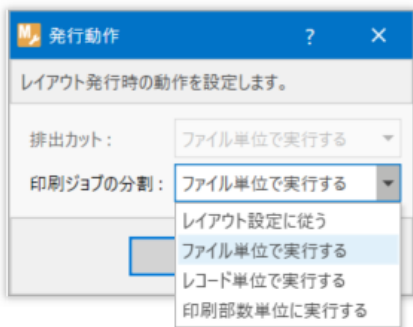
店舗コード	店名	発行枚数
001	目黒店	5
002	田町店	8
003	恵比寿店	10

# 3. フォルダ監視発行でカラープリンタのカット制御に対応

対象	MLV6 Standard	MLV6 Lite	MLV6 Plus	MLV6 Enterprise				
----	---------------	-----------	-----------	-----------------	--	--	--	--

## ■機能紹介

MLウォッチのフォルダ監視発行で、カラープリンタ利用時の印刷ジョブ分割に対応しました。



## 【制限事項】

弊社指定機種かつカットオプションが必要です。  
また、プリンタドライバでのカット指定を行ってください。

<対応機種例>

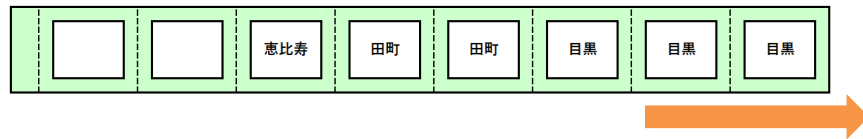
GHS612R、LX-P5500、TM-C3500 他

(用途例)

発行指示データの店名が変わるタイミングでカットしたい。

<Before>

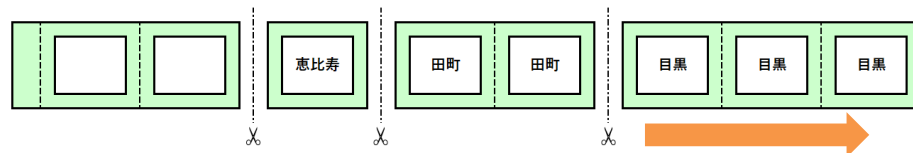
「目黒店→田町店→恵比寿店」と続けて印字される。



<After>

店名ごとにデータファイルを分けることで

「目黒店→(カット)→田町店→(カット)→恵比寿店」となります。





# 4. RFIDのデータ作成機能を強化

対象

MLV6  
Standard

MLV6  
Plus

MLV6  
Enterprise

## ■機能紹介

RFID変数の項目説明、桁数チェック、フィルターバリューの設定を強化しました。

- ・EPCエンコードに必要な項目について説明が表示されます。
- ・EPCエンコードに合わせてデータの桁数をチェックします。

EPCエンコード	設定項目	桁数
SGTIN-96	GTIN	14(固定)
	シリアル番号	1～12
SSCC-96	SSCC	18(固定)
GRAI-96	GRAI	14～26
GIAI-96	GIAI	最大25

- ・フィルターバリューがリストから選択できます。

フィルターバリュー  
個品やケース単位など複数の単位に  
EPCタグが付いている際に、素早く読み  
分けるための値。

## 5. WebEngineCSでインターフェース出力に対応

対象

							ML WebEngineCS
--	--	--	--	--	--	--	-------------------

### ■機能紹介

インターフェース出力に対応し、Webアプリからサトープリンタに直接制御によるラベル発行が可能になりました。

- ・対応インタフェース:LAN, USB, Bluetooth, RS-232C
- ・インターフェース出力のサンプルプログラムも用意しました。

### ■用途

- ・Webアプリでプリンタステータスを確認しながらラベルを発行できます。
- ・MLV5 WebEngineで直接制御によるラベル発行を行っているシステムをMLWebEngineCSに移行いただけます。

主な機能比較	MLV5 WebEngine	MLWebEngineCS
サトープリンタ発行	○	○
- プリンタドライバ出力	○	○
- インターフェース出力	LAN, USB, COM, BT	LAN, USB, COM, BT

# 対応内容一覧

## Multi LBEIST V6 Standard/Lite /Plus/Enterprise

分類	内容
—	MLファイルのバージョンを「3」に更新
機能追加	Excelファイルの取込機能を追加
機能追加	タイトル行をクリックするとデータの昇順・降順にソートする機能を追加
機能追加	ファイルの呼び出し時に指定した入力項目で昇順・降順にソートする機能を追加
機能追加	ファイルの呼び出し時に入力チェックを行う機能を追加
機能追加	入力エラー発生時に対象の項目名と行数、エラーの理由を表示する機能を追加
機能追加	入力エラーの対象項目にフォーカスを移動し、背景色や文字の色を変更する機能を追加
機能追加	テーブル種類に「Excel」を追加
機能追加	標準ラベル「STD10.5x52.5／3S／4907M73」を追加
機能追加	RFID変数の桁数をエンコード形式に合わせてチェックする機能を追加
機能追加	MLウオッチでカラープリンタ使用時に印刷ジョブを任意の形式で分割する機能を追加(プリンタドライバのカット機能を利用したカットタイミングの制御に対応)
仕様変更	ファイル形式設定の括り文字削除の初期値をONに変更
機能改善	RFID変数の[フィルターバリュー]に固定値を追加
機能改善	RFID変数の設定画面に設定項目の補足説明を追加
不具合	行エリアを一番右までスクロールしたときにフィルタ列の表示がずれる件を対策
不具合	[ODBC接続設定]ダイアログで項目名の列幅が最小で表示されてしまう件を対策
不具合	リアルタイムプレビュー設定時に、[ファイルから呼び出し]を連続して複数回実行するとアプリケーションが終了する件を対策

# 対応内容一覧

## Multi LBEIST V6 Standard/Lite /Plus/Enterprise

分類	内容
不具合	リアルタイムプレビュー設定時に、行エリアで[Shift]+[矢印]キーで2行しか同時選択できない件を対策
不具合	[ファイル情報]ダイアログのファイルバージョン表示がMLファイルのバージョンではなく、最新バージョンとなる件を対策
不具合	行エリアに入力する時に、「次へ」でページを遷移した1回目の入力や同一ページ内でスクロールが発生した直後の入力が入力結果が反映されない件を対策
不具合	ODBCの設定画面で「項目名表示」を2回押すとMLプリントが終了する件を対策
不具合	一部の設定画面で全角入力中にフォーカスを移動すると値が確定せずに消えてしまう件を対策
不具合	結合変数の子項目がオブジェクトにドラッグ&ドロップ出来てしまう件を対策
不具合	英語/中国語表示で「Windowsフォント(GDI)」のバーコード解説文字が表示されない件を対策
不具合	MLデザインでMLV5レイアウトファイルを開いたとき、互換確認メッセージボックスに表示する利用できない機能の一覧の表示が不正になる件を対策
不具合	レイアウトを[ファイル] - [閉じる]操作で閉じたあと、特定の操作で「印字詳細の設定に失敗しました」エラーメッセージボックスが表示される件を対策
不具合	MLV5のファイルバージョン「30」より古いファイルを開くとファイルバージョンが表示されない件を対策
不具合	Windowsフォントのサイズ指定で小数点以下の値を削除するとカーソルが整数部に移動してしまう件を対策
不具合	RFID変数の構成を変更して[テスト発行]ダイアログを起動すると入力項目が変更前の項目となる件を対策
不具合	古いファイルバージョンのファイルを開いた時に表示されるファイルバージョンの更新確認で[いいえ]を選択すると「センサ種の切り替えを送信する」が無効に変更される件を対策
不具合	外部ファイル呼び出し後に発行枚数を変更すると同じプリセット番号の別行も変わってしまう件を対策
不具合	外部ファイル呼び出し後に一覧画面でデータを削除すると警告メッセージが表示される件を対策
不具合	MLウォッチの発行情報のログが不正なイベントソース名で出力される件を対策

# 対応内容一覧

## Multi LBEIST V6 Standard/Lite /Plus/Enterprise

分類	内容
不具合	Windowsの日本語IME設定で「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」が有効な場合、[振分項目一括作成]ダイアログの[項目名]で全角入力するとアプリケーションが終了する件を対策
不具合	一部のパソコンでMLコンバートが起動しない件を対策(インストーラのVisual C++ 再頒布可能パッケージを変更)
不具合	英語・中国語を選択してインストールを進めた際、一部の項目で日本語が表示される件を対策

# 対応内容一覧

## Multi LBEIST Component/Multi LBEIST Component Plus/Multi LBEIST Preview Component

分類	内容
-	対応ファイルバージョン(MLV6)を「3」に更新
機能追加	エラーコードにExcelテーブル変換エラー(414)、RFID関連のエラー(437、438、440)を追加

# 対応内容一覧

## Multi LBEIST WebEngineCS

分類	内容
—	MLV6のファイルバージョン「3」に対応
機能追加	インターフェース出力(LAN, USB, Bluetooth, RS-232C)とファイル出力に対応
機能追加	WebAPIに以下のリクエストを追加 プリンタステータスの取得(/GetStatus)、Bluetoothデバイスの検索(/EnumerateBluetoothDevices)、Bluetoothデバイスのペアリング(/AuthenticateBluetoothDevice)
機能追加	/PropertyAccessリクエストに以下の項目を追加 ・settingパラメーターにLAN、USB、BT、COM、FILEを追加 ・protocol、timeout、statusID、jobName パラメーターの追加
機能追加	MLWebEngineCS設定ツールにプリンタ設定と機能制限のメニューを追加
機能追加	<componentCode>のエラーコードにインターフェース出力関連のエラーコードおよび414、437～440を追加
機能改善	PC起動後の初回のラベル発行またはプレビューのレスポンスが遅くなる問題を対策
機能改善	イベントログの出力内容を改善